



たんご せっく 端午の節句こんだて



5月5日は「端午の節句」です。子どもの健やかな成長を願ってお祝いする行事です。中国から伝わった行事で、「菖蒲の節句」ともいうそうです。

さて、「端午の節句」といえば、どんなものを思い浮かべますか？「こいのぼり」や「五月人形」、食べ物では「かしわもち」や「ちまき」、「かつお」や「たけのこ」があります。行事に飾るものや食べるものには、それぞれ意味や由来があります。そのうちのひとつ、「たけのこ」を紹介します。

たけのこは成長が早く、まっすぐに育って竹になるので、縁起がよいと言われています。そこで、端午の節句には「子どもがすくすく成長するように…」と願いを込めて、旬のたけのこを使った料理を食べます。今日の給食にも、たけのこが入っています。どこに入っているかわかりますか？ 答えは、若竹汁です。このたけのこは、4月から5月にかけて奈良県でとれたたけのこです。みなさんが元気にすくすく大きくなりますように…と願いを込めて、今日もおいしい給食ができました。

それでは、今日の給食もおいしく楽しくいただきましょう。

